

全体会午後の部 I

司会者 それでは定刻がきたので着席してください。ただ今より、全体会午後の部 I を行いたいと思います。

午後の部 I の司会を担当させていただきます八万中学校3年のp、松茂中学校2年のqです。よろしくお願いします。

午後の部は、前半のIと後半のIIの2部構成になっています。最初に意見発表を3本していただき、その内容を通して、みんなで人権について語り合い、みんなで大切な色を見つけていきたいと思いますので、みなさん、どうぞご協力、よろしくお願いします。

まずは前半1本目の意見発表です。八万中学校3年三宅翔太さん「なくなる差別を、なくす」です。よろしくお願いします。



「なくなる差別を、なくす」

八万中学校 3年 三宅 翔太

僕は中学生になってから今まで、人種差別や男女差別など、いろいろな人権問題について学んできました。部落差別についても学んできましたが、初めのうちはそれほど深く考えることができませんでした。だから、

「同和地区の人はかわいそう」

「同和地区に生まれてなくてよかった」

人権学習で部落差別のことを取り上げるたび、いつもこう思ってきました。心の中にはずっとその気持ちが存在してきました。けどそれは、僕が部落差別のことについてよく知

らなかったからでした。

中学二年生になり、学年人権集会で部落差別のことについて学習したとき、とても大きな怒りと失望が僕をおそいました。これまでも世の中に存在してはいけない差別をたくさん学んできましたが、部落差別は本当にしてはいけないし、存在もしてはいけない差別だと強く思いました。

僕はよく卓球の試合で鳴門に行くのですが、学年人権集会をしたあと、会場に向かう途中に驚きを隠せないものが目に飛び込んできました。

「なくそう部落差別・徳島県」

と書いてある大きな看板です。これを見たときは、一瞬時が止まったかのように感じたことを今でも覚えています。それまでにもその看板はあったのですが、集会で、まだ部落差別が残っていると知り、とてもショックで悲しかったからこそ、見えてきたんだと思います。

集会のとき、先生が僕らに質問をしました。

「もし、自分の知り合いや家族、友達、恋人から、『自分は部落出身だ』と伝えられたらどうする？」と。



もし、そんなことを家族、友達、恋人が伝えてきたら、僕は一番に「怒る」と思います。なぜかという、それまで部落出身ということで言い出せなかった気持ちも分かるような気もしますが、それ以上にそのことを伝えてくれなかったことがとても悲しく悔しいので、僕は「怒る」と思います。しかし、怒ったあとは、あたたかく受け止めたいと思いま

した。それが家族でも恋人でも同じ対応をとります。

ある日、同じ質問を家族全員にしてみました。最初はみんな混乱していましたが、お母さんは、

「もし、お父さんがたとえ部落出身でも、誰にいくら反対されても、必ず結婚していたと思います。たとえ、駆け落ちをしてでも。」

と、笑いながら言いました。そしてお父さんも、

「お母さんと同じ意見です。」

と言い、僕はとても安心しました。僕と同じ思いの人が近くにいてくれるだけで、こんなに勇気がわくとは思っていませんでした。



中学生になってから、インターネットによる人権侵害や刑を終えて出所した人、アメリカにおける人種差別、男女差別などを学習してきました。テレビでは、南米のストリートチルドレンやアフリカの難民の問題について、また新聞では元ハンセン病患者への差別などについて読んだことがあります。世界には数えきれないほど、たくさんの差別で苦しんでいる人達があります。その人達を救うことができるのがあと何年後になるか、全く分かりません。それにもう1年経つと、僕は高校生になっており、人権に関わることが本当に少なくなってしまう。でも、人権に関して無関心にならず、いろんな社会問題に関心もてる高校生になりたいです。

さらに、自分と同じ思いの人がいることを知って安心し勇気が持てたように、自分がそ

の立場になるために何ができるかを考えてみました。僕の将来の夢は、学校の先生になることです。僕は、人に安心や勇気を届けられる、そんな先生になりたいです。人権学習は、いろんな人とつながり、視野を広げ、そしてそれを継続していくことが大切です。そんな自分になるために、これからも自分を磨き続けていきたいと思っています。

ご清聴ありがとうございました。



司会者 (拍手)ありがとうございました。どうぞ元の席に戻ってください。続いて、前半2本目の意見発表です。鳥取県大山町立中山中学校3年中川莉花さん『『他人事』から『自分事』へ』です。

よろしくをお願いします。

『『他人事』から『自分事』へ』

中山中学校 3年 中川 莉花

私の住んでいる地区では、毎週、学習会があります。私は、小学校四年生のときに、東京から鳥取のこの地区に引っ越してきました。理由は、お父さんの実家がこの地区にあり、農業をしている祖父母の手伝いをすることにしたためです。

私が、学習会のことを知ったのは、引っ越してすぐのころです。私には妹もいるのですが、父に突然「そういえば、二人とも学習会に行くようにしておいたから。」と言われました。「学習会」と聞いて、私は、どこかに集まって、役場の人とかがワークなんかを使って小学生に勉強を教えてくれるというイメ

一ジがわいてきました。そして、塾みたいでめんどくさそうだなと勝手に思っていました。でも、実際に行ってみると、イメージとは違い、学習会は、学校の先生と一緒に、人権学習をしたり、国語や算数の勉強をしたりするところでした。そのころの私は、「何でも同じ地域の子だけが通っているんだろう。」と思っていました。でも、その理由は、何回か通ううちに分かりました。私の住んでいる地区は、昔、差別されていたところで、正しい知識を身に付け、差別に立ち向かう力をつけるために学習会があり、その地区の子どもたちだけが集まっているのです。それを知って私は、自分が住んでいるところが差別されていたところなんだと驚きました。でも、驚くだけで「ふうん、そうなんだ。」と軽く受け止めることしかできませんでした。



小学校五年生になると、本格的な人権学習が始まりました。そこでは、差別の始まりから学習していきました。また、夏には県外研修があり、小学校五年生の時は、全国水平社創立に携わった西光万吉さんの出身地である奈良県へ、六年生の時には、ヒトラーによるユダヤ人差別がおこった時代を生きたアンネ・フランクの資料館へ勉強に行きました。このような本格的な人権学習のおかげで、私はようやく、自分の住んでいるところが差別されていたという事実を深く考えるようになり、人権学習の大切さも分かってきました。今思うと、この時に気づけたことが、今の自分にとって大きな意味を持つこととなりました。

中学生になると、学習会に地区外の人も参加できるようになり、少しだけ仲間が増えました。校内人権弁論大会の運営やほかの地区にある学習会の人たちとの交流など、より活動の幅が広がってきました。しかし、中学校には部活動があります。平日五日の中で、唯一部活のない水曜日に学習会があるので、体も疲れるし「みんなは休みなのに学習会に行くのはめんどくさい。」と思うようにもなりました。

ある日の学習会の帰り道、いつものように歩いて帰っていると、同じ地区に住んでいる方に出会い、こんな話をしてくれました。それは、自分が部落差別を受けたという話でした。その方は、結婚して、夫の地元に住んでいましたが、夫の両親から何かと差別的な扱いを受け、ずっとつらい思いをしていたと話してくれました。その後、今住んでいるこの地区に戻ってきたそうです。今でも部落差別は残っていることは知っていたけど、身近な人の体験を聞くことはなかったので、すごくショックを受けました。しかし、この話を聞いたことで「めんどくさい。」とっていた自分の気持ちは「しっかり学習しなくては。」という前向きな気持ちに変わっていくきっかけともなりました。また、このような話を聞くと、自分も差別されるんじゃないかと不安にもなりました。今は大丈夫でも、社会に出て、就職や結婚をするとき、ここの地区に住んでいたからという理由だけで自分のしたいことができなくなるかもしれないのは怖いのです。

でも、今の十代くらいの世代では、部落差別をされたというようなことを聞かないから、まあ大丈夫だろうという気持ちの自分もまだいます。考えてみると、今の六十代、七十代の方たちの時代から比べて、見えにくくなっていることもあります。部落差別が減っているのも事実です。でもそれは、自然に減ってきたのではなく、これまで多くの方々

がしっかりと学習して、差別はいけないということを理解し、また、差別をなくしていくための活動をしてくださったおかげだと思います。このことから、学習会などで人権学習をすることが、どれだけ大切なのか分かります。今、私たちは何気なく学んでいるかもしれませんが、この学んだ知識をどうするかで、これからの時代の差別が減るかどうかがかかっていると思います。私たちは学習会で正しい知識を得ていますが、学習会に通っていない人の中には、授業などで「差別をなくしたい。」と言っている、それが終わると、平気で人を傷つける言葉を言ってしまう人もいます。そのような人を見るととても悲しくなります。このように差別を「他人事」として考えている人がいては、いつまでも差別はなくなれないと思います。私は、学習会で長い間学習した経験を生かして、差別を見抜き、正しいことを伝えていくことで「他人事」をなくしていきたいです。

私たちは、学習会で学んだことを、これからどうやって生かしていけるのでしょうか。どうやったら差別を「他人事」のように考える人が減るのでしょうか。みなさんもう一度考えてみてください。

司会者 (拍手)ありがとうございます。どうぞ元の席に戻ってください。続いて、前半3本目の意見発表です。藍住中学校1年今井愛莉さん「気持ちを大切に」です。

よろしくお願いします。

「気持ちを大切に」

藍住中学校 1年 今井 愛莉さん

誰もが、友達や自分と関わりのある人にされて「いやだな。」と思ったことがあると思います。それはどのようなことだったのでしょうか。私もたくさん嫌な思いをしたことがあります。私が一番ストレスに感じたことは、仲間はずれにされたことです。私には仲の良

い友達がありました。しかし、ある日から、私と話をしていた友達を連れて行き、私が一人になるということが何日も続きました。とても悲しかったです。つらかったです。でも、それを私は誰にも言いませんでした。平気な顔をして、がまんしていました。ある日、そのことについて話し合いをしました。これで仲直りとはいきませんでした。しばらくしたら同じような日がまた続き、私は学校が楽しくなくなりました。このように、仲間はずれ以外にも嫌な思いをしたことがある人はたくさんいると思います。

私は、生まれてから今まで自分が嫌なことをされてばかりだと思っていました。しかし、そんなことはありませんでした。嫌な思いをしたことは何度もあると思いますが、嫌な思いをさせたことはないのかを考えてみてください。



この言葉を知っていますか。「言う者は川に流す 言われる者は岩に刻む」これは、嫌なことを言ったり、したりした人は川に流すようにすぐ忘れるが、嫌なことを言われたり、されたりした人は岩に刻むように、一生心に残る。という意味です。よく考えてみると自分がされて嫌だったことは、いっぱい覚えていると思います。しかし、あの日、自分が言った言葉やまあいいだろうと思ってしたことが相手には嫌な思い出として刻まれているかもしれません。今、あんなことを言わなければよかったとか、しなければよかったと思っても、やり直すことは当然できません。だから、これから生きていく中で、誰かを傷つけ

ることが少なくなるように、なくなるように、人になにかを言ったり、したりする時は、この言葉を言っても相手が嫌な思いをしないかな、この行動をとっても嫌ではないかなとよく考えるようにしたいと思います。もし、相手が嫌な気持ちになったと気づいた時には、すぐに謝ったり、次からは気をつけて行動したりできる人になりたいと思います。

一人一人が自分の行動に責任をもち、人に接することができるようになると、傷つく人も減ると思います。まずは自分から頑張りたいと思います。そして、嫌なことをされた時は、全て自分で何とかしようとせず、誰かに頼ってもいいということを忘れず、相談したいと思います。

自分自身の経験や人権学習を通して、人権の大切さはどんな時でも忘れてはいけないと改めて実感しました。また、自分の気持ちも人の気持ちも大切にできる人になりたいと強く思いました。



司会者 (拍手)ありがとうございました。どうぞ元の席に戻ってください。

それではこれから、意見発表を通しての討議にうつりたいと思います。発表についての感想や意見交換、参会者のみなさんの思いを語っていただければと思います。

また、マイク係として、大麻中学校3年のrさん、八万中学校3年のsさんの2人がフロアをまわります。

なお記録の関係上、発表者は学校名、学年、名前を言ってから発表してください。

それではよろしくお祈りします。

城ノ内中学校 2年 j 私も学校とかで差別は学んでいたけど、学んで知るといのはいいけど、いつも学んでどうするんだろうと思ってて。私たちが学んだことで正しい知識をもつことはできるけど、それが人の助けになるのかなと思っていて。今日、鳥取県の中川さんの意見を聞いて、私たちが知っていくことで差別が減っていくんだなと思いました。少しうれしかったです。これからはがんばってとはいかないけれど、積極的に勉強していこうかなと思いました。



城ノ内中学校 2年 f 今井さんの発表を聞いて、自分で周りの人に相談しにくいことってあるじゃないですか。というのも、この会だったら、知らないからこそ相談できることもあるかなって思って。そういう意味での相談というのはしやすいんじゃないかなと思って。こういう会の大事さというか、人とのつながりとか、相談することの大事さとかに気付かされるような文だったと思います。

八万中学校 3年 g 三宅くんの作文を聞いていて、同じ地区に生まれてこなくてよかったって、最初ボクも、部落差別を習う前は思っていたんですよ。この集会に来るまでは。でも、そんな考えをしている自分が情けないなど、この会に行き始めた時に気付いて。三宅くんが言った「なくそう部落差別」の看板をボクも見ただんですよ。いつもランニング

とかで見かけて。未だに部落差別とか、差別に対しての運動をしているのに、何でなくならないのだからとボクも思ってて。まだなくなっていないという残念さが心に残っています。



八万中学校 3年 p ボクもgくんと似ているところがあって、そもそも部落差別は、住んでいるところがこっついうだけで、こういう職業をしていたというだけで差別する人がいるから今残っているわけじゃないですか。それって、ボクたちも普通に人は見かけで判断しちゃあかんよって学校とかで習っていると思うのに、何で大人たちには分からないのかと思う。

城ノ内中学校 2年 j 私の考えだけどgさんの意見を聞いて思ったことは、大人たちは多分、部落の人を差別の対象として、子どもの頃から強いられてきたのかなと思う。桃太郎ってあるじゃないですか。桃太郎はいいやつで鬼は悪いつて私たちは教えられたきたけど、本当にそれはどうなのかなって思って。私たちがもっている常識が、10年後になったら差別を生み出してたことになるかもしれないから、常識っていう壁をぶちこわしたらいいんじゃないかなと思った。

板野中学校 2年 k 思ったんですけど、部落差別ってそこに住んでいるからダメと言われて差別される。大人たちが差別していたら言いたいことがあるんですよ。そうだったら、

全部の町が、47都道府県のどこかの県の町がすべて東京にあつたら、差別しないの？とは思いますがね。その県だから差別されるのはおかしいかな。東京だったら大阪だったら大都市圏だったら、あんまりないと思うんですけど。ここ徳島の集落が、神が決めたことで差別されるのだったら少しおかしいなと思う。そこに住んでいる人の気持ちになってみーだと思う。

松茂中学校 2年 t pさんの言っていることに関してなんですけど、大人たちが何で今差別をしているのかなんですけど、誰が言ったのかなって感じなんですけど、人権の授業をした後でも、部落差別系な話をしている人たちなんじゃないかなと思います。大人は子どもよりかまだたくさんいるので、その中で差別をしていて、人権に全く興味がない人かなと思う。

パネリスト A 今さっきの2人の意見を聞いていて、難しいところはあるんやけど、大人が悪い大人が悪いと言う割には、自分が部落のことはっきりと習った訳でないけん、けっこう難しいところでもあるし、そうやってはっきり言えることでもないんやけど、なくならんことも難しいことやけど……。さっきの男の子が言よつたんは、そこの地域だけとかじゃなくていろんなところにあるし、大阪だからある、ないというんじゃないし。いろんな都道府県にもあると思うし。大人だけが悪いのではないと思う。

パネリスト M この言葉の選択が合っているか、ちょっと私も自信がないところなんですけど、大人が悪い訳ではないと思うんです。習ってこなかったとか、知らなかった人が悪いのであって。さっきの桃太郎の話もなんやけど、鬼が全員悪い訳ではじゃないよつていうことかね。その行為が悪いのであって、桃

太郎の中の鬼は、いろいろ人間から奪ったよね。していない鬼は悪くないよね。人間の視点から見るとね。だから、すべての大人が悪いというのではなくて、習ったけど、そんな関係ないわって思っている人がおるといふのをなくしてほしいから、こういう会があるんですよ。この場合は中学生が主体ですけど、後ろには大人もおるんよ。先生とか来てくれるし。こういう会を開いてくれる大人がいる訳じゃないですか。そういうことを学ばなきゃいけないと思っている大人がいるんであって、そういう人たちがばかりでないから、こういうことしなければならぬ。でも、こういうことしなくてもいい世の中になってほしいよねっていう思い、みんな同じだから。だから今、知ってもらおうための場をつくるのが、やるべきことなんかな。



中山中学校 1年 u 『『他人事』から『自分事』へ』というのを聞いて、私も学習会で学ぶまでは部落差別を知らなくて。その間に間違った情報が入っていたら、もしかしたら差別をしていたかもしれないので。何も知らない人もいたので、きちんとした情報を学んでいる私たちが知らない人に広めないで部落差別はなくなると思うので、私たちが、しっかりと自分事として考えなければいけないと思いました。

屋島中学校 3年 v 差別の問題というのは、たとえば職業がちがうとか人種がちがうとか、住んでいる場所がちがうとか。でも、

ここにいる人みんなは、人という点では共通していると思う。でも、なんでこんな差別が生まれてしまうのかというと、人っていうのはみんな同じだから、人より上回っている点とか、優れている点を見つけようとする。ボク自身も、多分そうだと思います。たとえば、ボクの方が君より運動できるから偉いんだとか、そういうところから差別は生まれていくんだと思う。だから、そういう見方じゃなくて、じゃあ、一緒なところはどこかなとか、そう考えればみんな人なんだから、世界中の人がみんな仲間になるんじゃないかなと思う。

高浜中学校 1年 m 「言った人は川に流す」って聞いたんで、ああ確かにそうなんだって思いました。私も小学生の頃はいやなことと言われてきたし、多分、自分も言っていたと思うんですけど。いやなことを言われた時は、ちゃんと謝ってもらおうと自分から言いに行っただんですけど、その子は謝ってくれなくていやな思いをしたんで。自分は言ったことは絶対に忘れないって思っているんですけど、多分忘れていると思うので、そこは気をつけたいなと改めて思ったし、やっぱ、いやなこと言ったって、こっちはまだ分からんこともあるし、自分がこれぐらい言っても、相手はまだ大丈夫なのかなって思っていることもあるので、相手が嫌だったとしても、こっちは気づかないこともあるので、しっかり自分の気持ちを、嫌だとかやめてとか、しっかりと伝えるようになれたらいいなと思いました。

高浜中学校 2年 n そもそも人権って何なのか知っていないと、そういうのに対応できないと思う。ここにきた人は、多分人権という言葉を知った上で学びに来ていると思うので、知らない人に人権ってそもそも何なのか教えてから、部落差別について教えたいなと思う。

大麻中学校 3年 b さっき差別って何であるんかって話してくれた子がおったと思うんですけど、ボクが思うんは、どの差別にも共通していることは、やっぱり人間って、自分とは何かが違う人見つけたら、本能的に攻撃したくなる、排除したくなるというところがあると思うんですけど。やっぱり、そういう本能に抵抗して行って、みんながすごしやすい社会をつくるというのが、この交流集会の目的であるのかなと思う。



司会者 人権とは何か、みなさんに聞きたいと思います。みなさんはどう思いますか。

八万中学校 3年 c さっきの女の子が言った意見について、私はちょっと違うんですよ。私自身、人権が何かははっきり言えないんですよ。人の権利としか言えないんですけど、人間らしく生きる権利とか言われたりしているんですけど。それがはっきりと分からないから。はっきり分かるとしたら、みんな幸せに暮らせるじゃないですか。人権が何なのか分かっていたら、それを学んで、聞いて、それを守って、それをルールとして生きていったら差別とかなくなる。でも今、語り合っているってことは、みんな人権っていうものが何なのか分からないから、分からないなりに、こう暗闇をじゃないけどさぐるようにしているからであって。多分みんなが、人権とはこうであって、みんながこうしたら幸せになれるんでよっていうことを、みんな分かっているから語り合いに来ていると私は思っている

んですよ。自分自身が人権はこうだからこうするほうがいいよって、全世界に発信することはできないし、だから、分かってないから来ているというのが私の中では多いんですよ。人権ってどんなんだろうっていうのを聞きたいから、ここに来ているから、私は、さっきの意見とは違って、人権を知るととは思ってないです。みんなが人権についてこうなんだよと、はっきりと教えてくれるとは思ってないです。

八万中学校 3年 p 人権って何？と聞かれた時に、「幸せ」みたいなこととみんな言うと思うんですよ。人の幸せって、個人によって違うじゃないですか。たとえば、私は友達と話をするのが好きとか、こうこうしている時が幸せみたいのがあって、それやから人権はこういうものと決まらないのだと思うんですよ。みなさんはどうでしょうか。

城ノ内中学校 2年 f 私もcさんとかpさんとかと同じ意見で、人権が何かと聞かれて、人としての権利というか、大切なものとは言えるんですけど、それ以上のことは言えないし。「具体的にじゃあどなん」と言われたら、ちょっと教科書に載っているような答えとか、そういう分かりやすい答えを言うことは難しいと思うので。さっきcさんが言ってくれたように、人権って何なのかと言うと、やはり人によって見方も違うし、人が変わったらこの世界がどう見えているのかということも変わると思うので、価値観の違いによって人権が何かっていうのもいろいろあると思うので、やっぱり全員に共通したこれっていう答えはないのかなと思います。

城ノ内中学校 2年 w ボクは、人権は何かと聞かれると、人間が生きていくために必要なものだと思います。野生の動物で、群れですごしていない動物で考えたら、人権なんて

ないと思うんですよ。けれどその動物は、1匹で生きていけるぐらい強いんですけど。人間というのは一人でできんぐらい貧弱な動物で、頭だけいい動物なんで、その中で生きていくためには、人権っていうものを使って、互いに生き合っていくってことが、人間には一番必要なんですよ。だから人権っていうのは、人間が生きていくということで、最低限必要なことであると思います。

城ノ内学校 2年 j 今発表してくれた意見を聞いて私が思ったことは、私が思う人権というのは、徳島ラーメンみたいな感じなんですよ。人権という漠然としたもの、人が人として生きられる漠然としたものである「めん」があって、そこに「たまご」とか「ねぎ」とかみたいに私たちが自分たちで考えて、トッピングしていったら、はじめて徳島ラーメンができていくように。人権っていうのもおかしいんですけど、そういう感じのものができあがるんじゃないかなと思いました。

藍住中学校 3年 d さっきからみなさんが言っている意見と逆になってしまうんですけど、障がいのある子がいじめられていたら助けると思うんですけど。障がいのある子が障がいがあるからといって、何でも許される訳ではないと思うんですよ。現にボクが、自衛隊の船を見に行った時の話なんですけど、ボクが普通に機関砲見たくて並んでいたんですけど、障がいのある子が後ろから来て、ボクの足を踏んで、障がいがあるから優先されるかのようにしていたんですけど、これはちょっとおかしいのではないかとボクは思いました。障がいがあるから逆に何でも許されるかといったら、常識ってものがあると思うんです。だから逆に、いじめられていたら何でもしていいんじゃないと思うんですよ。いじめられていたけど、今は逆に仲良くなっている友達がいる、その子に「高校にいじめのこと

言うぞ」みたいなこと、自分はしたくないんですよ。そういうのは、関係をよくしたいから。だから、被害を受けているからといって被害を与えた人に逆に何でもしていいかといったら、そうではないとボクは思うんですよ。



八万中学校 3年 c さっきpさんが「人権って幸せだと思う」って言ってくれたんですけど、いじめっ子からしたら、いじめることが幸せなんです。優越感に浸っていじめるのは多分、その人たちにとっては幸せなんです。だから幸せっていったら、ただで物を得るって幸せじゃないですか。窃盗じゃないですか。そういう意味なんです。人の幸せを願うからその子に盗ってきた物をあげていい訳ないし、幸せだったら何でもしていいとは思わないんですよ。それと、人じゃないですか。人権って。動物って弱かったら死んでいくじゃないですか。でも人間は、障がいのある人たちを支援しようとするじゃないですか。この話をこの前担任の先生として、「それって何でなんですか」と先生に聞いて、人間はそういうのを思考するというか、そういうものが築き上げられるんですよ。頭がいいから人権っていうものができたし、困っていたら助けてあげる。助けるとか、そういうものができているから人の権利がある。「人権が何であるのか」という問いに対して、担任と話をしたって話と、自分が幸せだったら、誰かが不幸せでもいいというのは違うなということです。

八万中学校 3年 g cさんが言ってくれたように、いじめるのが楽しいとか、そういう考えの人もおるかもしれないけど、人をおとしめて、それを見るのが楽しいという人もいますよ。実際にボクも中1の頃とか小6の頃、小6の頃は「金出せ」とかそう脅されて、しんどい思いもしたんですけど。中1の頃は何人がかりで、何人もがラインとかで悪口言って、けっこう心もしんどかった。ボクが人権に関連して2年生の時に初めて参加したのがこの集会なんです。ここで、こういう前で話してくれよった人（パネリスト）に話しかけたら、「よくがんばったな」とか言ってくれてすごうれしかった。母にも相談できなかつたんですよ。もしそれを言ったら、ちょっと大ごとになって、大ごとかもしれないけど、言うちょっとめんどくさくなって。人のあかんところをさがすんが、いじめ好きな人の特徴なんです。たとえばボクでいうたら、こういう場でもふざけようとする。こういう意思がだめなんだって自分でも自覚あるんだけど、こういう名札とかふざけているんですけど。でも、ふざけるとやつでも考えはみんなと一緒にやし……、言うことを忘れたんで替わります。



高浜中学校 2年 n 授業で道徳あるじゃないですか。その道徳でいじめの話になると、先生に「どうですか」って聞かれた時に、ほとんどの人が「だめだと思います」と言うと思うんですけど、何がだめなのか考えた上で、

そういうことを考えてもらわないといけないなと思います。

高浜中学校 1年 x 人って、一人ひとり幸せが違うと思うから、自分が幸せになりたいからといって、自分の意見を通そうとするけど、絶対自分の意見が通るっていうのでもないし。だから、違う人の意見も取り入れて、新しい幸せみたいなものを見つけていけばいいんじゃないかなと思います。

パネリスト A すみません。今さっき、障がい者の話が出たと思うんですけど、ちょっと正直言いますと傷つきました。この場って、人を傷つけるためのものではないっていうことはみなさん分かっていると思うんですけど。正直、障がい者だから何でも許される訳でないってことは、私も分かっている部分はあるんですが、そういうことではなく、私自身にもダウン症の弟がおるんです。何でも許されるのではないのは分かっているんですけど、でも、そういうふうに捉えられている部分があったのがすごいしんどくて。そりゃその子らやって悪気があるってしている訳ではないのに、やっぱ、周りの人から見たら、そういうふうに使われている部分がすごいしんどくて。何て言ったらいいんだろ。その子たちもほんまに悪気があるのではないので、悪いことをしたら「ごめんなさい」って言わなあかんのは承知しとるんですけど、そういう子たちのこともちゃんと分かってあげてから、そういう意見を言ってほしいなっていう部分はありました。すみません。

高浜中学校 1年 m さっきのAさんの話を聞いてなんですけど、私の友達の弟も何かの障がいがあるんですけど。その子と会った時、よく遊んでるんですけど。その子が遊び終わった後片付けをしなかったことがあったんで、それは私もあかんなと思って、その子の

ためにも教えてあげたらいいなと思ったんですよ。片付けしなければいけないことも当たり前のことだけど、もし、その子にそれを教えないまま私一人で片付けていたら、その子が大人になった時にみんなと違うことをして、みんなから、周りから「なんやろあの子」って、いやなふうに思われているのはかわいそうやし。その子もいやだと思うので、そんなことを思われんようにするためにも、本人は分からんと思うけど、だから教えてあげなアカんと思って。さっきの足踏んで先に入っていった子のことは、「それはアカんで」って優しく教えてあげればよかったんじゃないかなと思う。傷つくっていうんじゃないで、そこは優しく言ってその子が納得するように、もっと気付かせてあげられるんじゃないかと思いました。

大麻中学校 3年 b ボクの人権に対する学びが低いためにこんなことを言うのかもしれないのやけど、「障がい」っていうのが、ボクにはちょっと定義とかが分からなくて。体が不自由だとか、こういうことが極端に苦手だとか、そういうのをいうんだろうなっていうイメージはあるんですけど。それだったら、この場における人間みんな苦手なこととか、みんなと同じようにできんことってあるじゃないですか。と、そういうふうに言ったらみんな障がいになるし、人間全員に不得意なことあるし、できんことあるけん、そんなんだったら「障がい」っていう言葉は、ボクは間違っているんじゃないかなって思うんですけど。このことについて、みなさんの意見を聞きたいです。

高浜中学校 3年 y ボクも「障がい」って、何が定義でどこが境なのかなと思って。ボクのひいおばあちゃんが認知症で、ちょっと前まで家にいたんですけど、けっこう認知症が進んでいて、勝手に家を出てどっかへ行って、

他の人のお世話になったこともあって。「認知症」って、一応そういう名前があるんだけど、それを時々一般の人は「ぼけ」と言ったりして。病気なんかもなんとか症とか言っていて、なんとか障がいとかついているんですけど、それだったら、病気の名前とかもどうなのかなとちょっと思いました。



八万中学校 3年 g 今思い出したんで言います。中学校1年生でやったかもしれないんですけど、「チクチク言葉」と「ふわふわ言葉」っていうのを習いました。その時は、言われたことで「チクチク言葉」と「ふわふわ言葉」を紙に書いてと言われて。その時、「ふわふわ言葉」より「チクチク言葉」の方が多かったんですよ。で、実際、15ページ以上あって。それぐらいボクも聞こえてきたんで。これだけ悪口言ってる人はどう思っとんかなと思って。それと、bくんの質問に対して。ボクは、よくランニングに行っていて、イオンまで行ってそこから帰ってくるんですけど。その途中で障がい者を見つけて、ちょっと困ったけん助けようと思って行ったら、助ける前に女子高校生と思う人が「何なんだろあの人、気持ち悪う〜」みたいな、そういうことを言ったんで、「何でそんなこと言うん」って、ちょっと勇気を出して言ってみたんですよ。そしたら、「えっ、だって気持ち悪いやん」みたいなこと言われたんで、ちょっとボクもキレて、「何でそう思うん？自分が言われたらどう思うんじゃ」って言ったら、その場から逃げたんですよ。その障が

い者、ちょっと道に迷っていたんですよ。道案内して、結局その場所に着いたんですけど、やっぱり障がい者に対しての悪口がごっついひどいなと思って。障がい者の気持ちを思ってみたら、別にそこで言わんでもいいんじゃないかなと思って。外では泣いてないけど、割り切れない気持ちで、家で3時間くらい泣いていました。

松茂中学校 2年 q gくんのさっきの話の、女の人が「気持ち悪う〜」って言ったことに対してボクが思ったのは、人ってみんな影響されているって思うんですよ。たとえば車いすの人とか妊婦さんとかが停める専用の駐車場があるじゃないですか。そういうところに、なんでもない人が普通に停めていくじゃないですか。あれって、それを見ていた子どもは、大人になったら同じことをすると思うんですよ。事実、ボクの友達の親にそんな人いるんで。だから、親が何か差別をしていたら、いろんな差別にあてはまると思うんですよ。部落差別とか人種差別とか。親が何か言っていたら子どもはそれが正しいと思って、それをまねして、どんどんつながって行って、いろんな人が言っていくと思うんですよ。だからそういうことがないように、ボクはそういう人を反面教師にして、したらあかんって思って。ちゃんとしたルールじゃないけど、常識みたいなものをもつことが大事だと思います。でも、その常識が、この世界にも間違った常識とかがあるから、そんなんに気をつけながら行動していくのが大事なかなと思いました。

城ノ内中学校 2年 f さっきAさんが言われたんですけど、私の妹が自閉症なんで言いたいことは分かるんですけど、dくんの場合は、何か親の教育が行き届いていなかったなという部分もあるんで、ちょっと、ほんとに申し訳ないんですけど、Aさんの意見だった

ら、dくんが全面的に悪いみたいな感じにとれたんで、そこは違うかなと思いました。

大学生 z ここのOGです。藍住中学校出身です。今、障がいのある子の話題が出ているから、どうしても黙ってられなくて。自分も弟が、知っている方はいらっしゃると思うんですけど。一番下の弟がダウン症で、めっちゃ大好きで、よく知っているフレーズで言えば、弟は天使ですよ！障がいのある子とかと関わる時も、やっぱり自分でもけっこう考えながら接してきているんですけど。最近すごいショッキングな出来事があった。5月にいったん帰省している時に、たまたま、この集会でもよく話してきたことがあるんですけど、中学生の時の同級生で障がいのある女の子がおって、その子と再会したんですよ。高校は別やったから久しぶりに会って、何か「おおっ！」みたいな感じで。自分は一人やったけど、向こうは家族と一緒にいて、「一緒にご飯を食べようよ」と言ってくださって、ご飯を食べてたんですけど。そこで話している中で「そうそう、zちゃん」と言われて、「成人式どこでやるの？」って言われて、「こっちでやるの？」聞かれたんですよ。自分は19歳だから来年成人式なんですけど、「まだ決めてません。どこにいるか分からないから」と言ったんですよ。そしたら、家族の方がその子に「もしzちゃんが藍住でするんだったら、あなたも一緒に行くで？」みたいなことを言い出したんですよ。よく分からなかって話を聞いていたら、この子には友達がおらんので、成人式に行っても一人になっちゃうから行かせないと親御さんが考えて。成人式って一生に1回しかないのに、そういうふう決めちゃってたみたいなんです。自分はその子と仲良くしていたから、うちも行くんだったら、一緒に行かせようかなどうしようかなみたいなこと言って。それを聞いて、そういうふう思わざるを得ない状況があるっ

てことじゃないですか。受け入れてくれる場がないっていう状況というか。で、自分もその時困っちゃって、その子のことはすごい好きやし、一緒に行くのも全然いいんだけど、自分も成人式に行ったら友達に会うじゃないですか。その子とずっとおれる訳じゃないし、その子とうちと友達がずっと一緒にいるわけじゃないから、どうしたらいいんだろうとその時はすごく困っちゃって。ほんと、どうしたらいいのか分からなかったんですけど。でも、そういうふうに家族の人が思わざるを得ない状況、社会になっちゃってるから。障がいのある子のことを100%理解するのは難しいかもしれないんですけど。でも、その子のする行動が分からないからといって、シャットアウトして、よそ者じゃないけど、そういうふうに扱ってしまうというのが、本当にどうしてもそうになってしまっているから。だから、分からんからと言って、さっき言った子のような出来事があっても、そのことが100%とは思わないでほしい。いろんな部分を見てほしいと思います。そしたら、何かちょっとずつ心が開けていって、分かっていくかもしれないと思いました。

松茂中学校 2年 t 障がい者についてなんですけど、ボクも兄が発達障がい、今、家でお父さんとお母さんがけんかしちゃっているんですけど。その時に発達障がいのことで、検査に行くか行かないかでけんかしてたんですけど。その時のお父さんの一言がお母さんには衝撃的だったらしいんですよ。今月の2週目ぐらいの金曜日なんですけど、突然お母さんがボクの部屋に来て、泣きながらこんなこと言ってきたんですよ。すべて聞かされた時にボクも涙目になっちゃって。ボクの兄って発達障がいって言われたんですけど、一見すると何も変わらないし、普通の男の子に見えるんですよ。で、お父さんの一言が「自分の子どもは障がい者だ」みたいで、お母さん

もすごく傷ついて。ボクもそう言われたら、兄は普通の男の人だったから、自分も信じられなくて、お母さんも。もともとボクって、3人兄弟だったはずなんです。おなかの中で一人死んじゃったみたいな感じで。子どものことでお母さんが、すごく頭を抱えちゃって。それで思いを全部ボクにぶつけてきたんで、ボクもちょっと泣いちゃって。今は笑えるんですけど、ここではそんなに笑って言うことではないんだろうけど、障がい者って、ボク的にも障がい者って言いたくないんですよ。みんなが言っちゃって定着しちゃったから。正直言ってこの差別的な用語なくしたいんですよ。定着しちゃったからなくなる訳で、これからボクもそんなこと言いたくないんで、もう言わないんですけど。うちの兄も、そういうこと自分的には分かっていたらしくて、お母さんもボクもそんなこと言ってないんですけど。1回お母さんが一日中泣いていたことがあったんで、その時にずっとそばにいたボクも辛かったです。



八万中学校 3年 c はい！1回みんな立ってください！両手を挙げて右に倒して……、はい、左に倒す……。はい、前に倒します……。はい、後ろに倒します……。人間は1時間に1回立たないと、30秒いや30分寿命が縮むらしいですよ！はい！これで心もリフレッシュされたはず！はい、sit down!

高浜中学校 3年 y 人権の話とは関係ないんですけど、30分から1時間に1回立たな

いと、動脈硬化みたいなものがあるらしいので、勉強の合間にはしっかりと立って歩いてください。

松茂中学校 2年 q さっきの障がい者のことで、ボクも障がい者って言葉はきらいで、何でそんな感じで区別されるのかなと思って。友達にも発達障がいなのかなって思う子がいて、そういう感じの子で、その子が他のクラスの子や同じ学年の子から、ちょっと何か言われたりするんですよ。「障がいをもっとう」って。だけど、そう言われる人やって人として変わりはないから、こういう区別をされることは、おかしいんじゃないかなって。そして、パラリンピック・オリンピックで、オリンピックは大々的で、パラリンピックって何か区別されて、テレビとかであまりしないでしょ。あれをボクは、オリンピックとしてまとめて、普通の健全な人と体の不自由な人の種目に分けて、そこでやっていったらいいんじゃないかなって思いました。

八万中学校 3年 s さっきのgくんの、高校生に「何でそんなこと言ったん」と言ったのは、多分知らない人ですよ。知らない人にそうやって言えるという勇氣はすごいと思いました。

八万中学校 3年 p gくんもそうやし、最初Yさんが名言を言ってくれたと思うんですよ。「行動が」みたいな。言ってくれたみたいに動かないと、こんな問題って解決しないと思うんですよ。学ぼうって思ったら思うのはいいし、これを分かろうと思うのはいいけど、じゃあそれを今度はだれかに教えてみようとか、やっていったらいいと思うんですよ。吉成先生も言ってくださっているんですけど、今回の人権集会のことを日記であったりとか生活記録に書いたりして、先生とか家族の間でも話し合っしてほしいなと思います。



松茂中学校 2年 t 話題を前の人権とかいじめの方にもって行ってよろしいでしょうか。うちの学校でも、最近いじめがなくなってきたと思うんですが、ボクの友達に、たった一人いじめられた人がいて、ボクと友達ともう一人とで、いじめた子に言いに行ったんですよ。でも、そのいじめた子は話を聞かなくて。今でもちょっと戸惑っているんですけど、ボクもあきらめかけちゃって、対応の仕方が分からなくて。ずっとずっとやられていたら、逆にボクもキレたくなるんですけど、キレたら後悔になっちゃうんでキレてはないんですけど。怒り気味に言っても、向こうには味方というか何人もいて、圧をかけてくるんですよ。圧力を。いじめてくるってほしい、圧力で勝つ人多いんですよ。冷静に話してくる子、少ないんですよ。話してくれるんだったら解決する可能性があるんですけど。圧力ばっかかけてくるとめんどくさくなるんで。今って、人権集会っていじめをなくそうみたいな感じで、今やっていることを広めようとしているじゃないですか。いじめをなくそうとしているのに、圧力をかけて逃げ切られるって、逆にタチ悪くないですか。でも、いじめてくる子って、ほしい圧で勝ってくるんで、冷静に話すことができないんだったら、自分たちで解決もクソもないんですよ。だから、バンッと暴力をふるってもなんもならないですよ。だから、どうやってその子に対処すればいいのって。いじめてくる子に対して、冷静に話そうとするこっちの身にもなってく

れないんだったら、いじめの対処の仕方がどうしても分かんなくて。でも、そのいじめられている子は、ボクたちに影響を与えたくないから「いい」って言ってきたんですけど。ボクも一緒に対処してくれようとした子も「それはいやだ。助けたい」と言ったんですけど。でも、人数の圧ってすごいですよ。10人对1人でやって、その10人が一斉に言ってきたら、絶対に負けますよ。負けない人もいるかもしれないけど、負けます。圧で勝ってくるんだったら、じゃあ逆にこっちも人数集めようとなっても、そんなに集らんですよ。めんどくさいと思うんで。ボクが思うには、冷静に話してくれる人が多い方が、ボク的には解決しやすい。圧力をかけてくる子が、どうやって変わっていくのかがその子の未来にもつながっていくし、その時の学校の空気とかにもなるんで。一人ひとりに注意するのがやっぱり一番なんだけど。ボクが悩んでいる、人数の差で圧力をかけてくる人たちの対処法を、分かっているのなら教えてほしいです。

司会者 時間の関係で、福井県の高浜中学校と内浦中学校のみなさんとは、ここでお別れになります。みなさん、ご起立ください。最後に言い残したことがあるのなら、お願いしませう。

高浜中学校 3年 y 今のtさんの話を聞いて、ちょっと思ったんです。ボクも小6の時、あまり知られてないんですけど、ずっと同級生からのいじめの対象だったんですよ。その時に相手が何人もいたんですけど、そこに一人だけで立ち向かっていくのは、たとえるなら大砲とかを持っている城に、自分だけよろいを着けて「やっつ」て行くようなもので、それでは勝ちにくいんで。どちらにも平等な立場である先生か生徒に相談すると、けっこう互いに自然と意見が言い合える状況になり

ます。実際にボクもそれで、ちょっと話し合っただけで解決したんで、とにかく同級生に相談するのもいいし、それに加えて、大人にも相談したらいいと思います。

内浦中学校 2年 o 私がいる地域にいじめられている子がいて、自分も小学生の頃にいじめみたいなことされていた経験があって、最近はないって分かっているけど、一つひとつの言葉を少しでも強く言われると、まだいじめられているのかなっていう感覚があって。いじめられている子もその子をいじめている子も自分より年下なんで、いじめている子には「やっつてはいけない」と言えるんですけど、言ったところで何も変わらないという感覚があって。言ってもやられている子が傷ついて、そこから治るってことがあるかもしれないけど、そこからトラウマになって治らない時もあるかもしれないので、それだったら言わない方がいいし。これから高校や社会に出て行くと思いますが、そこでも差別とかなくせたらいいと思いました。

司会者 またお会いできる日を楽しみにしています。気をつけてお帰りください。ありがとうございました。